



韓国日通、日系企業として初のGDP認証を取得

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

2021年09月30日

日本通運株式会社の現地法人、韓国日本通運株式会社（代表理事：杉康弘 以下、韓国日通）は、8月23日（月）を発効日として、韓国日通本社（ソウル）及び仁川国際空港CFSにおいて、医薬品の適正流通基準であるGDP（Good Distribution Practice）の医薬品の短期保管サービスの提供に関して韓国における日系物流企業として、初めて認証を取得しました。



（Incheon倉庫外観）

近年、韓国では重点新興産業である医薬・医療分野の成長は著しく、CMO（バイオ医薬品委託生産）施設数は世界第2位、また、バイオシミラー分野において、グローバル市場でシェアの高い複数の企業群が存在し、今後更に高品質な物流ニーズの高まりが見込まれます。

この度、韓国日通が取得したGDP認証の範囲は、韓国日通本社及び、仁川国際空港CFSにおける航空貨物輸出入フォワーディング業務及び韓国国内輸送サービス手配業務となり、保管は $-15^{\circ}\text{C}\sim-25^{\circ}\text{C}$ （冷凍）、 $2^{\circ}\text{C}\sim 8^{\circ}\text{C}$ （冷蔵）、 $15^{\circ}\text{C}\sim 25^{\circ}\text{C}$ （定温）の3温度帯の温度管理機能を備えた施設を使用します。

韓国日通では、今回の認証取得により強みであるグローバルネットワークと連携し、今後更なる拡大が予想される医薬品の物流ニーズにお応えすべく品質の向上とサービスの拡充に努めてまいります。

【施設概要】

韓国日通本社所在地	11F Kyobo Securities B/D 97, Uisadang-daero, Yeongdeungpo-gu, Seoul, 07327, Republic of Korea
倉庫所在地	146 Gonghangdong-ro 296beon-gil Jung-gu, Incheon, 22379, Republic of Korea
対応温度帯	-15℃~-25℃（冷凍）、2℃~8度（冷蔵）、15℃~25℃（定温）

以上